

# ひとり学びへの手引き

## ⑫ 読書感想文を書こう



これまで、国語の学習や夏休みの宿題で読書感想文を書いたことがありますね。なかなか文が書けなくて困った経験のある人もいることでしょう。上手に読書感想文を書くためにはどのようにすればよいか考えてみましょう。

読書感想文は、その本を読んで考えた主張を読み手に伝えるために書く文章です。主張を伝えるために、書き方の基本をしっかりと身につけることが大切です。

### ① 読書感想文を書く本を選ぼう

読書感想文を書くための準備として本選びが大切です。自分に多くの学びを与えてくれる本を選べたら、主張のはっきりした感想文が書ける可能性は高くなります。

本を選ぶときには「本選びのコツ」を参考にしましょう。

#### 本選びのコツの具体例

##### 〈1〉興味・関心のあるテーマの本を選ぶ

家族や友達との関わりについて悩んでいる人が、人間関係がテーマになっている本を選ぶと読書感想文が書きやすくなります。

「命」「心の絆」「環境」「平和」「友情」など、自分が関心を持っているテーマに関する内容の本を探ることが、読書感想文をすらすらと書けるようになるためのコツです。

##### 〈2〉体験と重なる本を選ぶ

自分の体験したことと重なる本を選ぶと読書感想文が書きやすくなります。

- ・登場人物と似た気持ちになったことがある！
- ・私もそんな経験したことがある！

と、本の内容と体験を重ね合わせて、どんどん文章を考えることができます。体験と重なる本を探しましょう。

##### 〈3〉今まで読んだ本の中から選ぶ

読書感想文を書くことになってから、あわてて本を探してもなかなか主張したいことに合った本が見つかりません。普段から学校や家庭で読んだ本を「読書カード」などに記録する習慣をつけておきましょう。記録した本の中から、自分の書きたい読書感想文に合いそうな本を選びましょう。

### ② 読書感想文のおおまかな内容を考えよう

本を読み終えたら、読書感想文の内容をおおまかに考えていきます。ここで、読書感想文の大きな方向性が決まります。

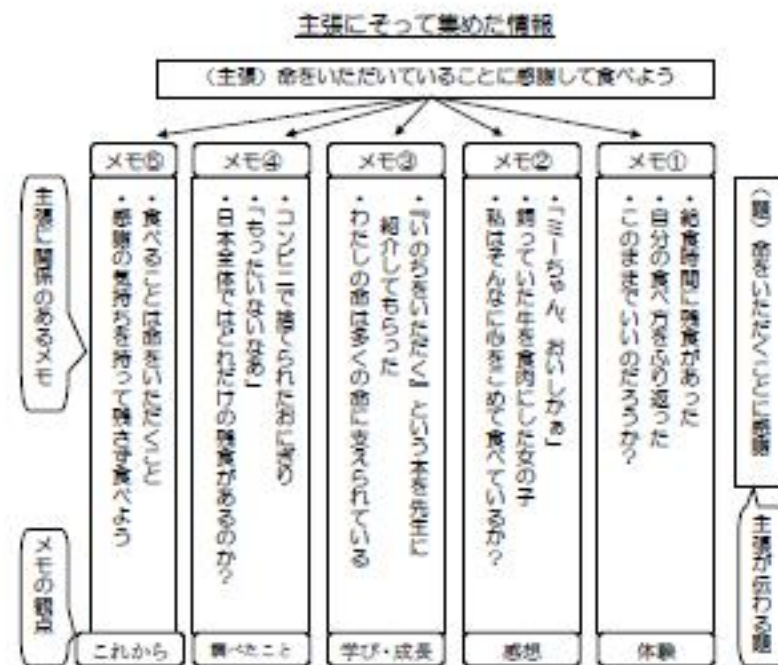
まず、自分の主張することを決めます。読書感想文は、本を通して考えた主張を相手に伝えるための文章ですから、この主張が何により大切です。

次に、主張することが決まったら、主張にふさわしい題を考えましょう。主張に関連するキーワードが入っていると、読み手に主張が伝わる題になります。

それから、主張に関連のある情報をメモ用紙に書き出します。この時点でのメモは大まかなものでかまいません。メモを書くときの観点は以下のようなものがあります。

「問題」「体験」「調べたこと」「学び・成長」「これから」

メモを書くことのわらいは主張と関連した情報を集めることです。そうすれば、主張を支える根拠がたくさん入った感想文を書くことができるようになります。



### ③ 文章構成を考え、感想文を書こう

主題にそった情報をメモに書き出したら、「序論・本論・結論」などの情報を書くか」という文章構成を考えます。具体的には、メモを入れかえる作業をしながら、どの順序で書けば、主張が伝わりやすいかを考えます。文章構成が決まったら感想文を書き始めましょう。感想文を書くときにはいろいろな方法があります。

- (ア) 序論から順番に書く
- (イ) 書きやすい段落から書く
- (ウ) 序論と結論を先に書いてから、本論を書く

文章構成を考えて書いた読書感想文

結論	本論③	本論②	本論①	序論
これから 主張	学び・成長	調べたこと	体験	感想 問題意識
「一冊一冊の食事を、ありがたいうの気持ちにこめて食べたいと思いました。」	私たちが普通に食べ物を食べられることは幸せなのだと思いました。そのことを実感した今、食べ物を粗末にはしていないと強く思いました。これから	コンビニからおにぎりを買いました。すると、店員さんが「賞味期限が過ぎていたので新しいものを取りかえますね」と言って、そのおにぎりをゴミ袋に捨てました。そのときに、本の主人公が捨てたことが分かりました。コンビニから帰って、日本の食糧自給率と残食量を調べました。自給率は三十九％でした。食糧のうち三分の一が捨てられていることが分かりました。	給食で苦手なおかずが出たときに、私は少し残してしまいました。その日はクラスでも残食が出ました。「このおかずは捨てられてしまうのかな」と思ったり、とても悪いことなりました気持ちになりました。	「ミーちゃん、いただきます。おいしかぁ、おいしかぁ。」これは、大好きだった牛を食肉にして食べたときの女の子のセリフです。私は、この女の子のように気持ちをこめて食事をしているのかと、自分に問いかけてみました。私は給食で苦手なおかずが出たときに少し残してしまっただけです。そのとき、とても悪いことをした気持ちになりました。そんな思いが残っていたある日、コンビニでおにぎりを買いました。すると、店員さんが「賞味期限が過ぎていたので新しいものを取りかえますね」と言って、そのおにぎりをゴミ袋に捨てました。そのときに、「もったいない」と感じて、本がくれたことが分かった気がしました。女の子が大好きだった牛のミーちゃんを食べられずに捨てられたらどんなに悲しいだろうと考えると、とても悪い気持ちになりました。

※書き終わったら、読み直して推敲します。→**推敲のポイント10**へ

### ④ 消書原稿から読書感想文のポイントを見つけ、これからに生かそう

読書感想文が書けたら文を読み返し、読書感想文のポイントを見つけましょう。

読書感想文の消書原稿

命をいただくことに感謝

主張が伝わる類にする

名前 ○○○○

「ミーちゃん、いただきます。おいしかぁ、おいしかぁ。」これは、大好きだった牛を食肉にして食べたときの女の子のセリフです。私は、この女の子のように気持ちをこめて食事をしているのかと、自分に問いかけてみました。私は給食で苦手なおかずが出たときに少し残してしまっただけです。そのとき、とても悪いことをした気持ちになりました。そんな思いが残っていたある日、コンビニでおにぎりを買いました。すると、店員さんが「賞味期限が過ぎていたので新しいものを取りかえますね」と言って、そのおにぎりをゴミ袋に捨てました。そのときに、「もったいない」と感じて、本がくれたことが分かった気がしました。女の子が大好きだった牛のミーちゃんを食べられずに捨てられたらどんなに悲しいだろうと考えると、とても悪い気持ちになりました。

コンビニから帰って、パソコンで日本の食糧自給率と残食量を調べました。日本の自給率はなんと三十九％でした。六十一％は輸入されていると知り、びっくりしました。しかも全食糧五十六万トンのうち、三分の一の一千八百五トンが捨てられています。さらにシヨックを受けました。

私たちは生きています。生きていくには食べ物を食べなくてはなりません。食べ物は命です。糧を残さうとする生命体です。食べるといいうことはそれらの命をいただくことです。それを考えると、私たちは多くの命を支えていることがわかりました。「人ひとりが「おいしい」「おいしい」といって感謝しながら食べるのが、命をくれたものや食べ物を作ってくれた人にとってうれしきことだと思えます。

私たちが普通に食べ物を食べられることで、多くの命が使われていることを知りました。そのことを実感した今、食べ物を粗末にはしていないと強く思いました。これから「一冊一冊の食事を、ありがたいうの気持ちにこめて食べたいと思いました。」

本の題「いのちをいただく」

主張に合う本を選ぶ

結論にこれからの自分を書く

本から学んだことや成長を書く

疑問について調べたことを書く

本と自分を重ね合わせる

主張とつながる体験を書く

書き出して本文を引用する

読書感想文のポイント

主張を読み手に伝えるためには書き方を工夫する必要があります。上のふき出しにあるように、書き方の工夫を「読書感想文のポイント」としてまとめておき、これから読書感想文を書くときに活用しましょう。

主張にそった情報を集め、文章構成を考えてから読書感想文を書こう。